

令和7年春の叙勲 地方自治と選挙管理事務における功績が称えられ

清水雅文さんが旭日双光章 豊田正俊さんが旭日単光章を受章

令和7年春の叙勲が4月に発令され、町内から清水雅文さん(越田)と豊田正俊さん(増田)が受章しました。



旭日双光章
清水 雅文さん(地方自治功労)

地域からの後押しを受け、平成15年に西海町議会議員に初当選した清水雅文さん。町村合併後も議員として円滑な議会運営に勤め、平成20年10月には愛南町長に就任。町政の健全な発展に努めたほか、愛媛県町村会長、全国町村会理事を歴任し、広域行政の推進にも精力的に取り組んできました。

在任期間中、特に高規格道路の早期整備に向け尽力し、地域での合意形成や関係各所への要望活動に奔走。その結果、松山市から愛南町までの未開通区間が全線事業化される功績を挙げました。

16冊の年間スケジュール帳を取り出した清水さんは、「あつという間に駆け抜けた16年間だったように感じる。5月に妻と皇居を訪れ天皇陛下に拝謁したとき、退任した実感と周囲の方々への感謝の気持ちを改めて強く感じた」と思いを述べました。

現在は、親族とともに真珠の母貝養殖に汗を流すほか、奥様との時間を和やかに過ごされています。

昭和61年に一本松町選挙管理委員会委員に選出され、平成10年からは委員長としての責務を全うした豊田正俊さん。委員長就任後初となる平成10年度参議院議員通常選挙において投票総参加を掲げ、投票率県平均を24.69パーセント上回る成果を上げました。また、町村合併した平成16年10月から暫定愛南町選挙管理委員会の委員長として、郡内全域を見渡し民主政治の健全な運営と選挙管理の適正な執行に尽力しました。

18年余りの長きにわたり選挙管理の重責を果たし、町内各地への明るく正しい選挙の思想普及に取り組んできた豊田さんは、「人のため地域のために尽くすことが自分にとって幸せ。その思いは若い時から今でも変わらず、周囲への感謝の気持ちが自身の原動力」と笑顔で話しました。

長年、農業にも励んでこられた豊田さんは娘婿さんに事業を継承。農業の技術指導や地域との交流など、89歳になった今も精力的に活動をされています。



旭日単光章
豊田 正俊さん(選挙管理事務功労)



愛南町
ホームページ

写真募集中!

投稿写真のコーナーでは読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載しています。町の伝統芸能や催し、風景、特産品など愛南町の魅力を伝えられる写真(おおむね1ヵ月以内に撮影したもの)に説明文を添えて投稿してください。投稿方法など、詳しくは町ホームページをご確認ください。

